

武蔵野赤十字病院 患者サロンだより

# みんなで語ろう会

ニュースレターNO.69 2018年8月発行

2018年7月18日に第75回“みんなで語ろう会”を開催しました。連日、猛暑が続く中、がん体験者10名(男性1名、女性9名)ご家族2名(男性1名、女性1名)合計12名ものご参加を頂きました。今回は、前向きにがんと共存する患者さんの参加が多く、その力強い言葉に互いに励まされ、勇気を共有しあう場面が見られた有意義なサロンとなりました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ・自分のことは自分の言葉で話す
  - ・他の方のお話は、善し悪しの評価をしないで最後まで聞く
  - ・サロンでのお話はこの場限りにする
- 以上三点です。又個人情報保護のために、SNSの投稿、録音、写真撮影は禁止です。ご協力をお願いしました。

○抗がん剤の副作用が辛くて包丁ももてない時、正直に夫にできない事を話した。いつのまにか夫は料理を始め家事がうまくなった。

○抗がん剤の副作用がひどいときは、自治体に相談するのもひとつの方法。ヘルパーさんを派遣してくれる自治体もある。

○「私も頑張るから、先生も私にもっと寄り添ってください。」と言ってみた。そうしたら気持ちが少し楽になった。

○行きつけの美容院に、ウィッグの手入れから抗がん剤終了後に髪が生えて外す時の、ウィッグと地毛の調整なども面倒を見てもらった。

○前向きながん患者さんと友達になったことで、「なるようになるさ」と思えるようになった。

○自分が不安だったから、同じ立場の人の気持ちが良く解る。

○自分のやりたい治療をしたいと医師に話した。その一歩を踏み出すのはとても勇気がいる。

○がんになって夫婦が互いに、「ありがとう」と言えるようになった。

○治療後すぐに遠隔転移した。そこから自分のやるべき事が見えてきた。

○がんと闘う仲間がいると、「頑張ろう！」という気持ちになる。

○くよくよした一日も、笑ってたのしい一日も、同じ一日だ。

一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 今後の予定

- 日時: 毎月・第3水曜日 13時～15時  
2018年 9月19日(水)  
10月17日(水)
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室  
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族  
どちらの医療機関にかかっても参加できます。  
(申込みは不要、参加費は無料です。)



Cancer Patients  
Support Organization

主催: 特定非営利活動法人がん患者団体支援機構  
〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-28-2

E-mail: info@canps.jp <http://www.canps.jp>

Tel: 03-5787-6411

共催: 武蔵野赤十字病院